



東洋特殊鋼業株式会社 URL:<http://www.toyotokusyu.co.jp>

大阪本社 TEL06(6532)4832 FAX06(6531)4270 E-mail:osk@toyotokusyu.co.jp

東京事務所 TEL03(3293)2682 FAX03(3293)2681 都祁事業所 TEL0743(84)0321 FAX0743(84)0324

秦皇島東洋特殊鋼業有限公司 TEL(0335)8508202 FAX(0335)8508205

**- 挑戦 - 市場の拡大・工法の充実・日中技能交流
- 第80回全社研修集会 -**

挑戦 市場の拡大 工法(技術と技能)の充実 日中技能交流の基盤構築をテーマとした第80回全社研修集会は、4月28日奈良市都祁交流センターを会場に開催。本社・東京事務所・都祁事業所の他、中国秦皇島東洋特殊鋼業有限公司も含め56名が参加しました。準備委員会責任者、仲野品質保証課課長は開会挨拶で、バブル経済崩壊の影響を深刻に受けた41・42期から全社を挙げて取組んだTTK再構築活動(ユーザー密着・ととくサイズ再編成・拠点拡大)で43期から45期の三期連続黒字達成をクリアできた実績を踏まえ、各地のユーザーさんに支えられながら46期も前三期を越える好調を確保できました。厳しい環境に耐えて頑張りぬいた智恵と努力を集め12月に打ち出された『社内の若い力の結集』で新しい目標と取組もうと強調しました。

会議は新しい仲間、生産課浦中啓太・日下賢一さん(中川生産課係長)と事務センター端野佐知さん(大西事務センター課長)を紹介、議事に入りました。

「キレイな工場で良い製品を」 今期生産目標 9000ト

整理整頓・明るい職場・生産効率向上

井谷生産課長は立派な目標を掲げる前に、まず原点をしっかりと固めたい、全員で実践できるやさしいテーマを選び確実に実行したいと、安全推進委員会を拡充し 整理整頓の徹底をやり遂げることを中心課題としました。同時に 明るい職場づくりを第二のサブテーマとし、朝・夕・日常の挨拶励行をアピール、全員参加の雰囲気作りを訴えました。更に40期から46期7年間の「成形機別成形速度」「2号機・9号機・14号機成形サイズ別、セット時間・調整時間」37期から46期10年間の「2号機・9号機機別稼働率」や「10年間の年間生産重量推移」などをグラフ化して公表、今期は9,000トンに挑戦したいと述べ、そのために機長級を中心に稼働計のQA解析を進めていること、セット時間・調整時間・待ち時間の短縮や、スピードアップの検証と取組んでいることを報告しました。稼働計から生産時間・セット時間・調整時間・待ち時間を読み取り、機械別に違いのある待ち時間の内容を機長さんたちとヒアリングの上で詳細に詰めてきめ細かい対応を探りつつあると述べています。

拠点運営 新分野への積極展開 ととくサイズ再編成

鋼管業界再編成の大きな波を学びながら

この一年間、少ない人員と経験の浅いメンバーを抱えながら、ととくサイズ・拠点拡大に取組んだ東京事務所は、「鉄鋼」「ステンレス」の二大拠点と地域拠点・ユーザー拠点を活用。実績を仔細に整理、解析しながら製品情報やユーザー情報を交流できる信頼関係を構築できるところまで到

達できたと「ステンレス」拠点での現状を例に詳細を報告しました。「毎月の拡販会議の内容」「5年間の年間出荷量推移」「拠面向け当月分直送明細」「5年間の拠点からの出荷データ」「拠点内部署別出荷グラフ」「拠点倉庫サイズ別切断出荷重量グラフ」「サイズ別切断長さ出荷本数」「当月出荷先明細」「切断出荷先明細」「拠点各支店部署別客先リスト」などここまでオープンに報告し合え本音の会議が定着できるまでの努力と時間の重さ、長さを東京営業の新人會澤さんがまとめました。

また昨年初から「新日鐵ステンレス建築構造材グループ」に集まり、とーとくサイズステンレス大型角鋼管を担当、建設コンサルタントや新規ユーザー層へのPR訪問を続けている東京池田課長は、同行の新日本製鐵(株)(鋼管)・愛知製鋼(株)(溝形鋼、山形鋼)。(株)アロイ(溶接形鋼)新日鐵住金ステンレス(株)(ステンレス鋼板)など専門家のみなさんの難しい技術を優しく解説する内容を呑み込んでしまい、その一端を「建築構造用ステンレス鋼の化学成分」「物理的性質」「機械的性質」「応力ひずみ関係」「酸化皮膜ともらい錆概念」等にまとめて報告しました。ラウンドハウス型の応力ひずみ関係・オフセット耐力などという普段聞きなれない用語の飛び交いに「～や異形管」への変え方・変わり方を中心とした製品説明に苦労している営業の皆さんも驚いていました。最後に登場した中谷課長は、味の素ファインテクノ(株)群馬工場の機械架台・スガノ農機(株)のリバーシブルプラウやレーザーレベラ・古河ロックドリル(株)ドリルジャンボ・鉄道車両向けエアータンク・(株)ルイ高のテニスポスト・(株)染野製作所の稼働床プール浮力兼用フレームなどにとーとくサイズが採用されている理由を、鋼種(N T F 6 0 F など)・形状・寸法・精度・法規(H A C C P)などによって詳細に解説しました。

ロール成形における角管管端ロスのカイゼン

秦皇島東洋特殊鋼業有限公司からも討論参加

中国のゴールデンウィークを利用して参加した秦皇島東洋特殊鋼業有限公司生産技術部からは、都祁工場でも問題となっている「リロール成形における管端ロスのカイゼン」と取組んだ実績を整理した報告が発表されました。厚肉材(t 12 mm)200角の材料長さ・成形伸びを測定、管と管の継目に簡単に挿入できかつ取り出しやすい治具を考案したもので、ポイントはそのスキマの寸法、長尺材が通常である中国とは、ちょっと違う日本でも6メートル製品のために6.1メートル材を手当てしている現状の改善は可能と、生産技術部佐久間さんが説明しました。長方形材ではどうかという質問が出ましたが、補足説明にたった上原秦皇島東洋特殊鋼業有限公司生産技術部長は、テストは都祁工場からの加工貿易製品で受注した鉄道車両向け材料鋼管の長さがぎりぎりロスやテスト材の余裕もないという条件で工夫したのがきっかけになったと説明しました。

拡販の拠点『大阪営業部』の確立

基礎の構築、「健康」「報・連・相」の実行

プログラムの最後を締めくくった瀬川大阪営業部長は、報告を「現状把握」「目標」「基礎作り」「実績」の4章に整理して述べ、バラバラでは戦力にならない、ユーザー・特約店・商社・鉄鋼業界など営業環境の激動が予想を越えて進んでいることを十分に理解し、初心に帰るとともに変えること、続けること、特にまず考えること智慧を絞ること、力を合わせて全員が『パイプのコンサルタントにならなければいけない』とまとめました。

札幌で商品説明会 「とーとくサイズ」「ステンレス建築鋼材」

4月11日、今井金商(株)札幌本店会議室で「とーとくサイズ」「ステンレス建築鋼材」の商品説明会(丸一鋼管(株)札幌事務所主催)が開催されました。これは今期経営方針の「角管・異形管の市場の積極的拡大」を進める東京営業部の企画によるもので、「ステンレス建築材」の道内需要の開発を兼ね、特に愛知製鋼(株)さんのご協力を得たものです。高島丸一鋼管(株)札幌事務所長の挨拶の後、愛知製鋼(株)営業本部ステンレスA E室佐野課長の「ステンレス構造建築材料と使用実績・ハサップについて」及び「とーとくサイズ角・異形鋼管の用途と納入実績」武藤東京営業部長の報告・解説がありました。今井金商(株)藤田常務・中西常務本店長・谷中取締役本店営業部長・青木鉄鋼部長・浦城鉄鋼部長・石本鉄鋼製品課長代・加藤鋼材課係長・永井係長・旭川支店岡地鉄鋼部長・釧路支店赤坂営業部長・佐藤鋼材課係長・帯広支店田向営業部長・藤岡土木製品課係長・苫小牧支店廣島営業総括課長・井上鉄鋼部課長代のみなさんが参加、丸一鋼管(株)高島所長・永井課長も参加されました。当社本社から木村グループ長が出席しました。

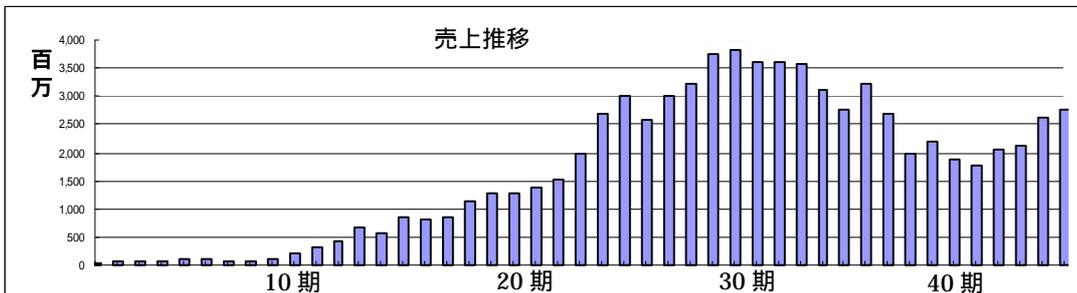
【註】ハサップH A C C PとはアメリカN A S Aでプログラムされた食品の安全性を最高レベルで管理する総合的な衛生管理システム。

4 6 期決算(中間)速報！

売上高	27億6498万円	(26億1198万円)	前期比	105.8%
売上総利益	5億2489万円	(4億7031万円)	前期比	111.6%
営業利益	1億0713万円	(6391万円)	前期比	153.2%
営業外収益	4767万円	(4802万円)	前期比	99.3%
経常利益	1億0486万円	(6062万円)	前期比	173.0%

()内は前期

1～46期(1963年3月～2007年3月)売上高推移



1～46期(1963年3月～2007年3月)生産高(外注・OEM含む)推移

